

2017  
*SATTE CITY GUIDE*

幸手市勢要覧

幸手市

桜のまち

埼玉県 幸手市



幸手市長 **わたなべ くに お**  
**渡辺 邦夫**

幸手市は、豊かな自然と先人たちの英知に支えられ、古くは日光街道と御成道が合流し、さらには筑波道が分岐する宿場町として栄えてまいりました。そして、今日においても、桜の花が織りなすトンネルで全国有数の桜の名所となっている権現堂堤や行幸湖の名で親しまれております権現堂調節池を始めとする中川、江戸川などの水辺の風景、のどかな田園風景など、訪れた人々の心を和ませる自然豊かな文化のまちとして、日々着実に発展を遂げています。

また、平成27年3月には圏央道（首都圏中央連絡自動車道）幸手インターチェンジも開通、さらに平成29年2月には茨城県内も全線開通したことにより、幸手市へのアクセスも格段に向上しました。

この市勢要覧で紹介できる幸手市は、四季折々の豊かな表情をもつ幸手市のごく一部でしかありませんが、この冊子を通じ、私たち市民が愛する幸手市の過去から現在、そして未来を、より多くの皆様に知っていただき、このまちに足を運んでいただくきっかけになれば幸いです。



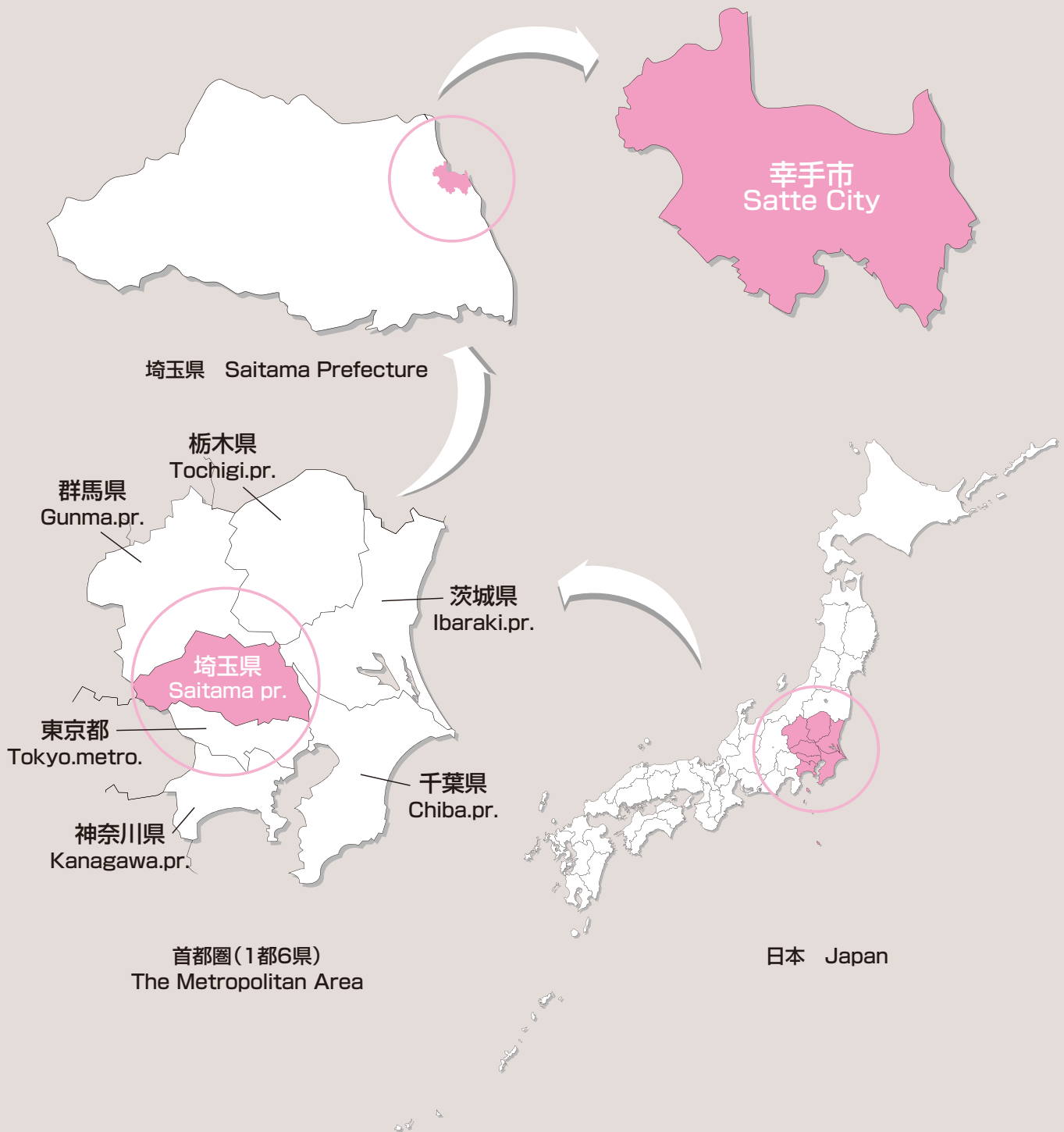
Satte city is filled with rich nature and the wisdom of its pioneers. It once was a prosperous post-station town which acted as a merging point for the Nikko Kaido Road and Onari Road, along with a fork of Tsukuba Road. Even now the city is steadily developing into a place rich in nature and culture which calms the hearts and minds of all who visit, thanks to its idyllic scenery and local rural landscapes such as Gongendo bank which is well known as having Japan's most prominent intertwining Cherry Blossom tunnel, and waterside scenery including Gongendo regulating reservoirs known as Miyukiko Lake, and Naka River and Edo River.

Furthermore, in March 2015 the Ken-O Expressway (the Metropolitan Inter-City Expressway) Satte interchange was opened, and in February 2017 lines were opened to the Ibaraki prefecture, meaning that access to Satte City reached a remarkable new level.

While this city guide introduces Satte city, it only shows you a handful of the abundant views of Satte city from season to season. Nevertheless, we are still happy to have a lot of people know the past, present and future of this city we all love, Satte, through this booklet and make it the chance to visit our city.



# *The Location of Satte City*





## 市制施行 30 周年記念 in 権現堂花火

### CONTENTS 目次

この桜並木をいつまでも……	6
あじさい、曼珠沙華、水仙……四季折々の花が権現堂境を彩ります……	8
30年のあゆみ……	10
毎日の生活に安心と生きがいを……	12
アスカル幸手・ウェルス幸手	
食が支えるさつて・個性を味わうさつて……	14
日光街道幸手宿……	16
圏央道で繋がる幸手と未来……	18
本因坊三代を生んだ囲碁のまち さつて……	20
幸手歳時記……	22
いにしえの幸手を巡る……	24
都市と自然が調和した	
安心・安全で活力あるまち 幸手……	26
自然と共生した安心・安全でゆとりのあるまち	
【安心安全・環境】……	27
健やかで生き生きとした暮らしのあるまち	
【健康福祉】……	28
地域の特性を活かした快適で特色あるまち	
【都市基盤】……	29
明日を支える人を育む教育・文化の豊かなまち	
【教育】……	30
活力ある地域経済をおこすまち	
【産業】……	31
市民一体となり自立した地域を育むまち	
【市民活動・人権】……	32
基本構想の実現のために	
【行財政・議会】……	33
そして未来へ・市制施行30周年……	34

**都市と自然が調和した 安心・安全で活力あるまち**





【上空から見た幸手市(平成28年10月撮影)】



# この桜並木をいつまでも...



## **A Nationwide Leader in Cherry Blossoms**

Around a thousand Yoshino cherry trees have been planted along the banks of the Gongendo and Naka River, covering a distance of about one kilometer. Over the embankment is a tunnel of intertwined cherry blossom trees, with the surrounding areas turning into a bed of rape blossoms. The warm spring scenery is especially enjoyable during the season of the Cherry Blossom Festival, which is held from the end of March to the start of April.

Tourists who visits during the Cherry Blossom Festival has now reached more than one million people. The Gongendo bank is now a nationally recognized cherry blossom viewing spot. Their vivid colors have been featured on television and in newspapers.



# 今では全国屈指の 桜の名所に

中川の堤防、権現堂堤に約1キロにわたり植えられた約1000本のソメイヨシノの桜並木。堤の上は桜のトンネル、そして、周辺に広がる菜の花畑。3月末から4月上旬にかけて開かれる桜まつりの季節には、心温まる春の風景を楽しむことができます。

桜まつり期間中に訪れる観光客は、いまでは100万人近くにもなりました。今や、権現堂堤は、全国規模の桜の名所となつていきます。多くのテレビや新聞にも、色鮮やかに取り上げられています。

## 桜堤を守り伝える

### 人たちがいます

「子どものころ、いつも遊び回っていた権現堂堤。川で魚を捕って遊び、冬には、冷たい水に素足で入ってシジミを採ったこともあった。カワセミが小魚を狙い、夜にはフクロウが鳴き、ホタルが舞った。本当に自然が豊かで、さまざまな生き物がいたんです。それが、いつしか桜は枯れ始め、斜面の土は雨で崩れ、穴が開いたり荒れ出してきてしまった。そんな堤の姿を



▲権現堂堤の中央に位置する峠の茶屋が訪れた観光客をおもてなしします。

見て『子どものころに自分たちが触れた堤の姿を後世に守り伝えなければ』という危機感と強い責任感のもと、約20人の仲間と一緒に堤に土を入れ、丸太の廃材で階段を作り土留めから土手の修復を開始したんです。」そう語るのは、NPO法人幸手権現堂桜堤保存会の並木克己理事長。

保存会を立ち上げたのは、平成8年、当初のスタッフは全員ボランティアです。その後、崖状斜面をなだらかにし、散策道を新設するまでには5年の歳月を要したそうです。



▲権現堂堤を後世に守り伝える活動が続けられています。

## いつでも楽しめる 堤の実現を

現在の権現堂のソメイヨシノは昭和24年に植えられたもので、今では老木です。保存会では、枯れかかっている木は伐採し、根から生えてきた枝を生かすことにより、新たなソメイヨシノの成長を見守っています。

「1年中、権現堂に来て楽しんでもらいたい」との思いから、桜以外の季節にも楽しめる花の郷となるよう、夏にはあじさい、秋には曼珠沙華、冬には水仙を植樹することで、今では四季を通じて楽しめる堤となりました。平成25年度には、国土交通省「手作り郷土賞」受賞を記念し、新たな見所として早咲きの河津桜を植樹するなど、権現堂堤を後世に守り伝える活動は続きます。

## 権現堂の歴史

天正4年（1576年）に築かれたと言われる権現堂堤。権現堂川は「暴れ川」として恐れられ、江戸時代には「権現堂川通り水除堤」や「御府内御囲堤」などと呼ばれるなど、遠くは江戸をも水害から守る重要な堤防としての役割を果たしてきました。

当時は、現在のように桜は植えられておらず、江戸末期には松の苗木が1300本植えられたという記録が残っています。

桜の木の植樹は、大正時代に入ってから。大正9年（1920年）に行幸堤保存会が組織され、関東随一の桜の名所にしようと桜が植えられました。すでに、大正末期には大勢の観光客で賑わっていたようです。

現在も続く桜まつりが始まったのは、昭和元年（1926年）。間もなく昭和4年に東武線の幸手駅が開設され、その後、浅草からの臨時電車が発着し、露天商が軒を連ね、芝居興行が行われるなど、有数の花見スポットとなりました。

しかし、当初植えられた桜は、太平洋戦争時に燃料として伐採されてしまいました。終戦後の昭和24年に約1キロにわたって3000本のソメイヨシノが新たに植えられ、現在もその当時の1000本の桜が各地から訪れる花見客を楽しませていきます。



大正13年当時



昭和8年当時

# あじさい、曼珠沙華、水仙… 四季折々の花が権現堂堤を彩ります

初めてあじさいが植栽されたのは平成8年、最初は150株からのスタートでした。今では100種、16000株を数えます。峠の茶屋付近には、淡い青や紫といったあじさいが鈴なりに、また、土手の斜面には白いアナベルが見事に咲き、初夏の権現堂堤を色鮮やかに彩ります。

平成18年にスタートしたのが曼珠沙華まつり。初秋には、堤の斜面を深紅の曼珠沙華が覆い尽くします。木々の間を縫うように咲く神秘的な花のじゅうたんは幻想的です。今では、350万本にまで増えました。年々観光客も増加し平成27年には57万人もの人が訪れるなど、権現堂堤の新たな顔として注目を集めています。

そして、平成21年から堤を彩る花々に、冬の水仙が新たに仲間入りしました。始まりは、市民からいただいた水仙の球根。これがテレビ中継されたことをきっかけに、県内外から球根が提供されるようになり、今では50万本を超えました。この冬に凛と咲く可憐な水仙が、それまで訪れる人の少なかった堤の冬に賑わいを与えてくれました。



【あじさいまつり】  
毎年6月から7月上旬にかけて開催されています。  
100種16,000株の色とりどりのあじさいが、初夏の権現堂堤を彩ります。





**【曼珠沙華まつり】**

毎年9月上旬から10月上旬にかけて開催されています。  
秋のお彼岸の時期に咲く事から彼岸花とも呼ばれる曼珠沙華が、桜の木々の間を真っ赤な絨毯のように斜面一面を覆い尽くす様子は、まさに癒しの空間です。



**【水仙まつり】**

毎年1月から2月上旬にかけて開催されています。  
寒い冬に凛と咲く白い可憐な水仙が、権現堂堤の四季を感じる花に仲間入りしました。

The first hydrangeas were planted in 1996, starting with around 150 total. Now there are over 16,000 of over 100 varieties. The area surrounding the Toge-no-chaya tea house is surrounded with the light blue and purple hydrangeas blooming in bunches. White annabelles cover the slopes of the embankment and adorn the Gongendo banks with vibrant colors in early summer.

The Red Spider Lily Festival started in 2006. Early autumn, the slopes of the embankments turn deep crimson with red spider lilies. They form a wonderful, mystical carpet of blooming flowers which weave in out of the gaps between the trees. There are now more than 3.5 millions. The number of visitors grows every year, with over 570,000 people visiting in 2015. Many of those come to see the new face of the Gongendo banks.

2009 saw the introduction of winter daffodils to add color to the slopes of the embankments. Initially the daffodil bulbs were gifted by the people of the city. But after they were televised, bulbs started coming in from outside of the prefecture as well, and now there are over half a million. The cute daffodils bloom in the cold of winter, and now the embankments are bustling with activity in winter which used to see few visitors if any.

# 30年のあゆみ



▲市制施行記念式典開催(昭和61年)



▲ひばりヶ丘球場オープン(平成4年)

- 昭和61年(1986年)
  - 市制施行
  - 初代市長に芝宏氏
  - 市制施行記念式典を挙行
  - 勤労者体育センターがオープン
- 昭和62年(1987年)
  - 駅前貫通道路(東さくら通り)が開通
  - 北公民館がオープン
- 昭和63年(1988年)
  - 権現堂桜堤周辺に菜の花の作付開始
  - 市民歌「あわせ風景」・市民体操歌「幸せの手」を発表
  - 南公民館がオープン
- 平成元年(1989年)
  - 都市計画道路幸手鷲宮線が開通
  - 勤労福祉会館がオープン
  - 初代名誉市民に故三ツ林幸三氏
- 平成2年(1990年)
  - 平和都市宣言
  - 香日向小学校が開校
- 平成3年(1991年)
  - 公共下水道の供用を開始
  - 東公民館・弓道場・コミュニティセンターがオープン
  - 市制5周年記念花火大会を開催
  - 平和都市宣言モニュメント
  - 「しあわせの手」を建設
  - 広域利根斎場組合メモリアルトネの供用開始
- 平成4年(1992年)
  - 行幸湖(権現堂調節池)が完成
  - 第1回さくらマラソン大会を開催
  - ひばりヶ丘球場がオープン
- 平成13年(2001年)
  - 神扇グラウンドがオープン
  - なのはなの里がオープン
  - 第1回あじさいまつりを開催
- 平成14年(2002年)
  - 第1回ドラゴンボート大会を開催
  - 可燃ごみ処理を杉戸町に委託開始
- 平成15年(2003年)
  - 第6代市長に町田英夫氏
  - 外野橋が完成
  - 本因坊8世伯元、9世察元の墓石を発見
- 平成16年(2004年)
  - 第59回彩の国まごころ国体の開催
  - カヌー・新体操競技を開催
  - 名誉市民に故三ツ林弥太郎氏
- 平成17年(2005年)
  - ウエルス幸手がオープン
  - 本因坊10世烈元の墓石を発見
- 平成18年(2006年)
  - 第1回曼珠沙華まつりを開催
  - 燃やせるごみの有料化を開始
- 平成19年(2007年)
  - 小学校に子ども囲碁クラブが発足
  - 財政健全化計画を策定
- 平成20年(2008年)
  - 幸手駅東口停車場線・駅前広場が完成
  - ふるさと納税の受付を開始
- 平成21年(2009年)
  - 岸本家住宅主屋が国の登録有形文化財に
  - 第5次幸手市総合振興計画を策定



▲幸手駅駅前広場完成(平成20年)



▲彩の国まごころ国体開催(平成16年)



▲外野橋完成(平成15年)



▲幸せの手形設置（平成9年）



▲アスカル幸手オープン（平成7年）



▲市営釣場神扇池オープン（平成6年）



▲さくらサミット開催（平成12年）



▲市内循環バス運行開始（平成8年）



▲第1回幸手市民まつり開催（平成6年）

■平成5年（1993年）  
第3代市長に増田実氏  
消防署西分署が完成

■平成6年（1994年）  
市営釣場神扇池がオープン  
さくら10万本運動を開始  
第1回幸手市民まつりを開催

■平成7年（1995年）  
アスカル幸手がオープン  
大島新田調節池が完成  
第1回幸手湖クリーン作戦を開催

■平成8年（1996年）  
市内循環バスの運行を開始  
圏央道を都市計画決定  
さくらの里がオープン  
市制施行10周年記念式典を挙  
第1回クリーン幸手市民運動を開催

■平成9年（1997年）  
「幸せの手形」をアスカル幸手に設置  
ごみの分別収集を開始

■平成10年（1998年）  
県内初の投票管理システムを導入  
さくらふれあい広場がオープン

■平成11年（1999年）  
中学校にインターネットを導入  
幸手市公式ホームページを公開

■平成12年（2000年）  
全国さくらサミットを開催  
杉戸町のし尿処理を受託開始  
中学生を広島平和記念式典に派遣開始

■平成22年（2010年）  
「らき☆すた」特別住民票の交付開始  
第1回水仙まつりを開催

■平成23年（2011年）  
第8代市長に渡辺邦夫氏  
東日本大震災に伴う避難住民を受入  
県道加須幸手線バイパスが全線開通

■平成24年（2012年）  
ことも医療費の支給対象を  
中学校卒業までに拡大  
幸手・日光・越谷の3市長が発起人となり  
日光歴史街道活性化首長サミットを開催

■平成25年（2013年）  
学校給食費の補助を開始  
小・中学校で土曜授業を開始  
埼玉東部消防組合が設立される

■平成26年（2014年）  
防災行政無線をデジタル化  
本因坊3つの墓石を指定文化財に指定

■平成27年（2015年）  
図書館香日向分館がオープン  
圏央道幸手インターチェンジが開通  
小学校でさつアファースクールを開始  
デマンド交通の運行を開始

■平成28年（2016年）  
ウェルネス幸手に子育て総合窓口を設置  
公民館に地区市民センターを併設  
幸手駅橋上化・自由通路整備に向け  
仮駅舎工事を着工  
市制施行30周年記念式典を挙



▲市制施行30周年記念式典開催（平成28年）



▲圏央道幸手IC開通（平成27年）



▲岸本家主屋が国指定文化財に（平成21年）

生きがいや趣味に没頭するとき、新しいことにチャレンジするとき、私たちは幸せを感じます。仲間と乗り越え、分かち合うことで、その幸せはさらに大きくなります。

健康とスポーツ、文化の振興、コミュニティの推進を担う施設、アスカル幸手とウェルス幸手は、市民のみなさんのそんな幸せを応援しています。

# アスカル幸手



## ■アスカル幸手で

### 心も体もいきいきと

アスカル幸手(幸手市民文化体育館)は、式典や文化祭、コンサートなど文化活動の舞台となるさくらホールと、全国規模のスポーツ大会も開かれるメインアリーナで構成された複合施設です。

大会などのほかにも、プロスポーツ選手を呼んで開催する運動教室や、グランドピアノの演奏体験、ジム器具を揃えたトレーニング室など、それぞれのライフスタイルに応じてさまざまな利用方法があります。

アスカル幸手には、心も体も活気に満ちた、たくさんの笑顔があふれています。

# 毎日の生活に安心と生きがいを

## ウェルス幸手



### ■ウェルス幸手で 憩いと健康への安心を

ウェルス幸手（幸手市保健福祉総合センター）は、市民の健康づくりやリフレッシュ、世代間交流や地域福祉の中核的役割を担う施設です。

センターには保健福祉行政を集約した窓口のほか、各種検診を受診できる検診ホール、親子でふれあう親子プレイルーム、入浴施設である天神の湯などがあり、世代を超えて人が集まる憩いの場にもなっています。

平成28年度には子育て総合窓口も開設しました。この窓口では、子育てに関する手続きを一括でできるだけでなく、妊娠から子育てまでのさまざまな悩みを、専門員に相談することができます。

ウェルス幸手では、幅広い世代のニーズに合わせ、心温まる憩いと健康への安心を提供しています。

We all feel happiness when we find something that interests or captivates us, or when we challenge ourselves to something new. And that happiness grows even more when you share and make progress with your friends. The Athcul Satte and The Welth Sutte are facilities which serve the community through the promotion of culture, sports and health to help the people of the city to achieve their happiness.

# 食が支えるさって

## 特別栽培米

幸手市は、利根川の豊かな水と利根川や渡良瀬川の氾濫によりもたらされた肥沃な土壌に恵まれ、県北東部に位置する県内有数の穀倉地帯です。

その中でも、農家のみなさんが減農薬・減化学肥料により丹精込めて育てた特別栽培米コシヒカリは、特別な安心とおいしさを備えたお米です。

その食味は、粘りがあり、ふっくら甘く、つやがあるのが特徴です。ふるさと納税の返礼品としてもご好評をいただいています。



## さくらファームで

## 四季を味わう

四季の花で賑わう権現堂堤に隣接しているのは、JA埼玉みずほ農産物直売所「さくらファーム」です。

「さくらファーム」では、地元農家のみなさんが一生懸命作った採れたて新鮮野菜、農産物加工品、地元産の米、スイーツなどの豊富な品揃えで、お花見や観光に来たみなさんをお迎えます。



### Special Cultivated Rice

Satte city is located in the northeast of Saitama prefecture, and is a well-known grain-producing region. It is blessed with nourishment which flows through Watarase River and Tone River, and the plentiful water of Tone River itself.

The rice farmers produce a specially cultivated Koshihikari variety of rice by using less pesticides and chemical fertilizers, resulting in an especially tasty rice which is safe to eat.

The rice is characterized by its stickiness, fluffy sweetness and glossiness. It is used as a gift given in return for the region's "benefit-your-locality" tax scheme.



# 個性を味わうさって

## 幸手ならではの 楽しむ自慢の品々

幸手市には、商工会が厳選な審査をして推奨する「幸手市推奨品」があります。

一定の基準に適合したものを取り揃え、個性豊かで美味しいものばかり。市の自慢の品々です。

特に、桜を使ったお菓子やお酒が人気を集めています。桜の絶景を眺めながら、桜の逸品を楽しんでみませんか？



卵たっぷりのどら焼きです。四季に合わせた期間限定の味も楽しめます。

石太菓子店  
北 1-10-32 ☎ (42) 0052



### 桜 権現太鼓 (どら焼き各種)



手造り薄塩あんの塩あんびんと、香り豊かな草もちは人気商品です。

(合) 石巻商店  
北 2-1-15 ☎ (42) 0426

### 桜 塩あんびん・草もち



さくらの葉を刻んだピンクのさくら餡がたっぷり入ったお饅頭です。

和菓子の早稲田屋  
中 2-11-27 ☎ (44) 1011

### 桜 さくら饅頭

昔ながらの味を大切に、備長炭で焼いている手焼煎餅です。

中山商店  
中 4-20-32 ☎ (42) 1613



米、正油という素材の味を大切にした素朴な味の煎餅です。

桜製菓  
中 4-10-7 ☎ (42) 1605

### 桜 手焼せんべい

### 桜 天日干し煎餅



埼玉県産の小麦を使用。さっくり軽い食感が人気のクッキーです。

洋菓子工房エルドベール  
東 2-7-6 ☎ (43) 6692

### 桜 埼玉県産小麦使用・クッキー詰め合わせ



紅こうじの生地の中に道明寺桜あん和小倉あんが入った限定商品です。

プルミエール  
中 1-1-40 ☎ (43) 7744

### 桜 桜あんぱん (期間限定3月~4月)

幸手のお米「白目米」で作った地酒。権現堂堤の桜から名付けられました。

(有) 伏見屋  
中 3-5-22 ☎ (42) 1811



お酒に適した豊かな軟水を使用。手塩にかけて手作りした辛口の一品です。

小山屋酒店  
中 3-4-1 ☎ (42) 0309

### 桜 白目桜 (幸手米「白目米」使用)

### 桜 幸手純米酒天美録



# 幸手宿



## 幸手宿のなりたち

日光道の整備前から、幸手は利根川水系による河川舟運と、鎌倉街道中道の人の往来で、交通の要衝として栄えていました。特に中世では、古河公方の重臣・幸手一色氏との縁が深く、政治的・軍事的にも重要な場所であったことが分かっています。

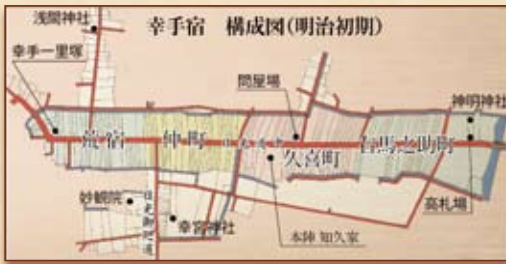
江戸時代に入り、日光道が整備されると、一六一六（元和二）年に、幕府より人馬継立を命ぜられ『幸手宿』となりました。

幸手宿は、日光道のみならず、將軍家による日光社参の道である日光御成道との結節点でもあることから重要な地であったと考えられています。

## 幸手宿の構成

宿駅としての幸手宿は、南から右馬之助町、久喜町、仲町、荒宿の4ヶ町より構成されていました。


一八四三（天保十四）年の「日光道中宿村大概帳」には、幸手宿の長さ585間（9町45間）、道幅6間、家数962軒、人数3937人、本陣1軒、脇本陣1軒、旅籠27軒とあり、城下町に併設された宿を除くと、千住宿、越ヶ谷宿に次ぐ日光道3番目の規模を誇っていました。




日光道中間延絵図（東京国立博物館所蔵）




**H 旅館「朝萬」**  
あさよろず  
1819（文政2）年創業の老舗旅館。館内に明治末の要人の宿札が残る。  
▶明治32年改築当時3階建ては珍し




**きしもと 岸本家住宅主屋**  
かつて醤油醸造業を営み、1900（明治33）年パリ万博で銅賞を受賞。現在は主屋を残すのみとなったが、古民家カフェやイベントなどに活用されている（国登録有形文化財）。



**ほんじん 本陣跡**  
幸手宿の本陣は知久家が務め、1876（明治9）年の明治天皇行在所ともなった。



**さちみや 幸宮神社**  
創建より400年以上の歴史を持ち、1914（大正3）年の合祀を機に幸手町の総鎮守となる。  
▶見事な本殿彫刻（市指定文化財）





## まちあるきマップ

市の主要な観光資源である権現堂堤と駅とを結ぶ動線上にある日光街道幸手宿の歴史的・文化的資源を紹介した幸手宿まちあるきマップでも幸手宿の紹介をしています。



## 日光街道とは

日光街道は、江戸幕府によって整備された五街道のひとつで、江戸期には日光道中または日光道と呼ばれていました。江戸日本橋を起点とし、日光坊中（日光東照宮）まで達し、総延長は36里3町2間（約142km）に及びます。日光街道は、日本橋から宇都宮宿まで奥州道との共用区間であったため、東北方面の大名の参勤交代のほか、日光社参（東照大権現への参拝）の道として、庶民にも多く利用されていました。日光街道には21の宿場が設けられ、人馬の継立、助郷差配等の業務を行う問屋場、大名が宿泊・休憩をした本陣、脇本陣などが置かれたほか、旅籠、木賃、茶屋や商店が建ち並び、町場を形成し賑わいを見せていました。

### 幸手一里塚

日本橋から12里(約47km)の一里塚跡。街道の両脇に築かれ、榎が植えられていた。

### 日光御廻道

にっこうおまわりみち  
將軍家日光社参の際の水害の難を回避するため整備された迂回路で、一度も使われなかった幻の日光社参路。いまは「妙観横町」と呼ばれ、妙観院の境内に道標が残されている。



日光道中幸手（埼玉県立歴史と民俗の博物館所蔵）

### 香水山 正福寺(なかぞね)

正福寺には僧侶の修学機関である「談林所」が置かれ、多くの修行僧を教育した。真言宗。また「徳川実紀」には、將軍に就任する以前で数え年9才の四代將軍家綱が、1649（慶安4）年の日光社参の折、この正福寺に宿泊したことが記されている。

### 日光道中道標

境内にある大きな道標。権現堂河岸と日光道中への道標となっている。

### 善提山 聖福寺(しんてら)

將軍家の休憩所と伝わる。浄土宗。本堂の「將軍の間」の彫刻は、かの日光東照宮「眠り猫」を作った彫工・左甚五郎の作と伝わるほか、運慶作と伝わる阿弥陀如来、幸手の彫工・後藤義光(または義雄)作といわれる鐘楼堂の彫刻などがある。山門は唐破風の四脚門で、勅使門と呼ばれる(市指定文化財)。

### 芭蕉の句碑

1693（元禄6）年、深川芭蕉庵での十三夜連句会で、松尾芭蕉は奥州への旅路を思い起こし「幸手を行けば栗橋の関」（上の句は「きり麦をはや朝かげにうち立てて」と詠んだ。なおその時に弟子の曾良が詠んだ句は「松杉をはさみ揃ゆる寺の門」で、聖福寺の勅使門を詠んだとされる。

# 圏央道で繋がる 幸手と未来

## 幸手インターチェンジと 幸手中央地区産業団地

圏央道（首都圏中央連絡自動車道）は、都心から半径およそ40km～60kmの都市を繋ぐ延長約300kmの高規格幹線道路です。横浜、厚木、八王子、つくば、成田、木更津などの都市を連絡し、東京湾アクアライン、東京外環自動車道などと一体となり、首都圏の広域的な幹線道路網を形成しています。

平成27年10月に埼玉県区間全域、平成29年2月に茨城県区間全域が開通したことにより、西は神奈川県、東は成田空港までのアクセスが格段に向上し、今までよりさらに、どこへでも繋がりがやすくなりました。

平成27年3月に開通した圏央道幸手インターチェンジの東側では、現在、幸手中央地区産業団地の工事が進んでいます。交通の利便性から、物流・輸送拠点として最適のロケーションであり、平成29年1月現在、11社への分譲が済んでいます。

また、のどかな田園環境に配慮するため、工業団地の周囲には高木を植栽しています。豊かな自然と調和した幸手らしい工業団地の誕生も、もう間もなくです。



The Ken-O Expressway (the Metropolitan Inter-City Expressway) is a 300km long, high-standard arterial road which connects cities within a 40 to 60km radius from its center. It merges with the Tokyo Outer Loop Road and the Tokyo Bay Aqua-Line, and connects the cities of Yokohama, Atsugi, Hachioji, Tsukuba, Narita and Kisarazu to name a few. After opening to all areas of Saitama in October 2015 and all areas of Ibaraki in February 2017, access has been taken to a new level, from Kanagawa in the west and Narita Airport to the east, and it is now easier than ever before to connect to anywhere.

# 本因坊三代を生んだ 囲碁のまち さって



平成11年度からボランティアの協力により実施した市史編さん事業「市内石造物調査」において、本因坊第8世伯元・第9世察元・第10世烈元の墓石が相次いで発見されました。

これは囲碁界でも非常に珍しい発見で、幸手市の誇るべき地域資源として理解されてきています。

現在、幸手市では囲碁を通じて、より多くの子どもたちが郷土の歴史と文化の素晴らしさを理解する心の育成を期待し、子ども囲碁大会や学校囲碁指導員による小学校での囲碁指導を実施するなど、明日を担う子どもたちが幸手市とゆかりのある囲碁文化に触れ、楽しむ機会を増やすための取組を行っています。

こうした囲碁文化普及の機運の高まりに合わせ、平成26年5月には、3つの墓石を市指定文化財に指定、平成27年度からは幸手本因坊・子ども本因坊大会も開催されるなど、幸手の囲碁は、ますます盛り上がりを見せています。

## 本因坊とは？

「本因坊」とは、<sup>じやっこうじ</sup>寂光寺（京都府京都市左京区仁王門通東大路西入北門前町）の<sup>たっちゅう</sup>塔頭（大きい寺院の中にある小さな寺）の1つで、その僧侶算砂が信長・秀吉・家康に碁を教え、碁界の頂点にある江戸幕府の碁所に就いたところから、囲碁の一流派の名前になったものです。

本因坊家は、代々世襲制を取っていましたが、第21世秀哉が引退した昭和14年以降は、本因坊戦の勝者に与える称号となりました。

本因坊家代々の墓は、第3世までが京都府の寂光寺に、第4世以降は東京都豊島区巣鴨の本妙寺にあります。このため市内に残る本因坊の墓石は分骨されたか、または、供養のために建てられたものだと考えられています。

第8世伯元・第9世察元・第10世烈元と3人もの本因坊が出ているのは全国でも幸手市だけです。

本因坊家											
第21世	第20世	…	第12世	第11世	第10世	第9世	第8世	第7世	第3世	第2世	第1世
秀哉	秀元(再襲)		丈和	元丈	烈元	察元	伯元	秀伯		道悦	算砂



### 本因坊第8世伯元の墓（天神島248）

伯元は、天神島の出身で享保11(1726)年に生まれました。15歳で囲碁の本因坊第7世秀伯の弟子となり、間もなく寛保元(1741)年に跡を継ぎ本因坊第8世となりました。

しかし、宝暦4(1754)年に病気のため、弟子の察元に跡目を譲るとすぐに亡くなりました。碁格は6段。墓石は天神島の共同墓地内の尾崎家墓所にあります。



### 本因坊第9世察元の墓（平須賀3018）



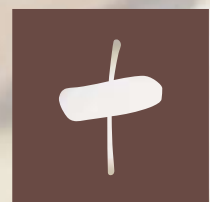
察元は、平須賀の出身で享保18(1733)年に生まれました。幼少のころから囲碁に長け、本因坊第8世伯元の弟子となり、宝暦4(1754)年に本因坊第9世を継ぎました。

明和3(1766)年に名人(9段)に昇進し、その後、明和7(1770)年には江戸幕府の碁所に任じられ、「棋道中興の祖」と称されました。没年は天明8(1788)年です。墓石は平須賀外郷内の共同墓地内にあります。



### 本因坊第10世烈元の墓（上吉羽396）

烈元は、上吉羽の出身で、寛延3(1750)年に生まれ、文化5(1808)年に亡くなり、碁格は準名人8段でした。烈元は幼少のころから本因坊第9世察元に弟子入りし、察元が碁所に就いた明和7(1770)年、21歳6段のときに察元の跡目になりました。天明8(1788)年、察元の死去に伴い家督を継ぎ本因坊第10世となりました。墓石は上吉羽の澤村家墓所にあります。



The "City Stonework Survey", which is a project made possible by the cooperation of volunteering city historians since 1999, has discovered gravestones of former heads of the Honinbo of Igo; the 8th head Hakugen, 9th head Satsugen and 10th head Retsugen. This is an extremely rare finding, even in the world of Igo, and it has come to be known as a regional resource which Saitte city is very proud of.

たくさんの人が参加し、腕を競い合う幸手本因坊・子ども本因坊大会は、世代を超えた貴重な交流の場となっています。





# 幸手歳時記

活気が幸手を彩ります

## 八坂の夏祭り

300年を超える歴史と伝統を誇り、幸手の夏を彩る一大イベントが八坂の夏祭りです。7月上旬に華麗な大神輿が宮出しされ、1週間にわたる夏祭りが始まります。

期間中の平日の夜には、中央通りに各町会の子ども神輿が集まり連合渡御も行われます。週末には7台の山車が町中を曳きまわされ、日曜日の夕方に行われる“花山”では駅前にすべての山車が勢ぞろい。各町の山車が駅前の坂を勇壮に駆け上がり、興奮は最高潮に達します。



## 初山（浅間神社）

赤ちゃんが「初めて山に登る」ことから、その名前が付けられたといわれる「初山」では、その年に生まれた赤ちゃんのおでこに健康と長寿の願いを込めて赤い神社印を押して、その健やかな成長を祈ります。北2丁目の浅間神社では、6月30日、7月1日の2日間にわたって行われています。





## ささら獅子舞

千塚の千塚神社、松石の香取神社では、7月中旬の日曜日に獅子舞が奉納されています。天下泰平や家内安全、五穀豊穰などを祈願するものです。雄・雌・中という3頭の獅子が辻や花などの舞い方で区内を回るのが千塚に伝わるささら(写真右)。行司を先頭に、3頭の獅子にひょっとこや天狗も加わって家々を回るのが松石に伝わるささら(写真左)です(市指定無形民俗文化財)。



## さくらマラソン

桜まつり期間中に開催する「幸手市さくらマラソン大会」。市内各所の桜の下を通るコースは、参加者のみなさんにも大好評。中でも、権現堂堤の桜のトンネルは、幸手市でしか味わうことのできない贅沢なコースです。



## 幸手市民まつり

市民によるまちづくりの推進と市内産業の振興及び地域コミュニティの進展を図るため、市民まつりが開催されています。

まちを元気にしようとする多くの団体が参加するこのまつりは、平成25年度からは駅前通りで開催されるようになり、ますます盛り上がりを見せています。

## 幸手市文化祭

毎年11月初め、アスカル幸手をメイン会場に開催される幸手市文化祭。市内で活動するみなさんによる舞台発表や作品展示が行われる市内最大の文化イベントです。

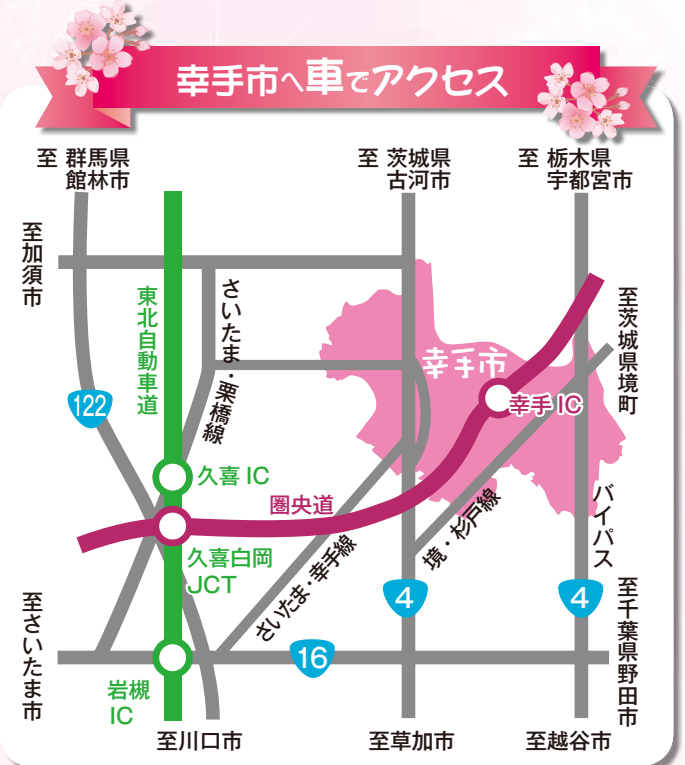


# いにしえの幸手を巡る



     国登録有形文化財、  
 県・市指定文化財  
     主な文化財

**民具資料館**  
 旧吉田中学校の木造校舎を利用した展示施設。多くの民具や歴史資料を収蔵（見学要申請）。



## 千葉県野田市



**6 聖福寺勅使門**  
 唐破風の勇壮な四脚門。聖福寺は日光社参の時、徳川将軍が御昼休をとった寺。



**7 幸宮神社本殿の彫刻**  
 創建より400年以上の歴史を持つ神社の本殿に施された装飾彫刻。



**8 銀杏地蔵**  
 樹齢400年以上といわれる大銀杏の胎内に刻まれた子育て地蔵。



### 1 岸本家住宅主屋

土蔵造り2階建ての居家で江戸時代末期に建築された。国登録有形文化財。



### 2 幸手義賑窮餓之碑

天明の飢饉の折、幸手宿の商人たちが施粥を行ったことを記念して建立。県指定文化財。



### 3 マリア地藏

赤子を抱く地藏尊。隠れキリシタンの信仰対象とも。



### 4 将門の首塚

愛馬が運んできた平将門の首が葬られているといわれる。

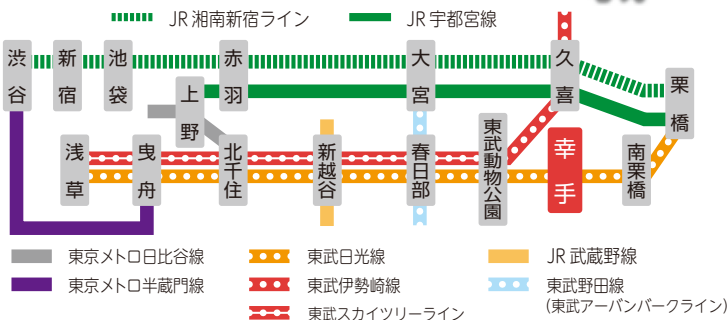


### 5 順礼の碑

1802年権現堂堤の決壊の際、人柱となった順礼母娘の供養碑。



## 幸手市へ電車でアクセス



# 都市と自然が調和した 安心・安全で活力あるまち

# 幸手

日本では少子高齢化や国際化、情報化などの社会情勢が変化中、高度化、多様化する市民ニーズに的確に対応し、経営的な視点に立った効率性・有効性の高い行政運営が求められています。

このような状況を踏まえ、幸手市では、市民意識調査の結果や市民検討会議における意見などをいただき、第5次総合振興計画を策定しました。

While an aging population, declining birth rate, globalization and computerization are changing the nature of Japanese society, there is a real need for administrative management with a high rate of efficiency and effectiveness from an economic standpoint, which also provides appropriate support to the needs of its diverse and sophisticated citizens.

With this in mind, we have implemented the following five plans of action after soliciting opinions at open-conferences with citizens and public opinion poll results.

## 基本構想

まちづくりの基本理念と将来像、施策の大綱などを示し、最も基本的な市政運営の指針となります。

【計画期間】平成21年度～平成30年度

## 基本計画

基本構想を具現化・体系化した計画。基本構想実現のための、具体的な施策推進の基本となります。

【計画期間】（前期）平成21年度～平成25年度  
（後期）平成26年度～平成30年度

## まちづくりの 基本理念

1.

### 市民との協働による 計画的なまちづくり

時代の変化や意識の変化により、高度化、多様化する市民ニーズに的確に対応するため、地方自治の本旨たる「住民自治」の精神に基づき、市民の主体性を活かす行政・市民の協働による計画的な地域社会づくりを進めます。

2.

### 安心・安全で 持続可能なまちづくり

自然との共生を基本に環境に与える負荷の少ない生活を実践し、市民の安心・安全と快適な生活環境を持った持続可能なまちづくりを進めます。

3.

### 幸手市らしさを持つ、 コンパクトながら 活力あるまちづくり

これまでの拡大を基調とした施策から転換し、幸手市の一人ひとりの「人」、権現堂堤の豊かな田園などの「自然」、千年近く続くまちの「歴史・文化」といった地域の資源や特性を活用し、コンパクトながら活力に溢れたまちづくりを進めます。

## 重点施策

### 1. 自然と共生した安心・安全でゆとりのあるまち

- 1 温暖化対策事業の推進
- 2 循環型社会の形成
- 3 災害に強いまちづくり

### 2. 健やかで生き生きとした暮らしのあるまち

- 1 地域子育て支援体制の充実
- 2 地域医療体制の充実
- 3 高齢者福祉・介護予防事業の充実

### 3. 地域の特性を活かした快適で特色あるまち

- 1 圏央道インターチェンジ周辺産業団地の整備
- 2 幸手駅及び周辺の整備

### 4. 明日を支える人を育む教育・文化の豊かなまち

- 1 児童・生徒の安心・安全の確保
- 2 特色ある学校教育の充実

### 5. 活力ある地域経済をおこすまち

- 1 地産地消の推進
- 2 中心市街地の活性化

### 6. 市民一体となり自立した地域を育むまち

- 1 市民と行政の協働体制の整備
- 2 NPO・コミュニティ等によるまちづくり活動の支援

### 7. 基本構想の実現のために

- 1 行政運営の効率化
- 2 財政の健全化

# 自然と共生した 安心・安全で ゆとりのあるまち

## 【安心安全・環境】



### 【防災訓練】

負傷者救出訓練、炊き出し訓練、消火訓練などの実践的な訓練を実施し、災害に対する意識の高揚や「地域防災力」の向上を図っています。

また、有事に取るべき行動の再確認のため、洪水・地震に対応したハザードマップを作成し、全戸配布しています。



歴史と自然が豊かな幸手市の特徴を生かしながら、安心・安全で持続可能な暮らしが送れるよう、環境面・安全面への施策を充実させています。

地域環境への負荷を低減し、環境にやさしいまちづくりを推進していくことは、私たちに課せられた使命です。豊かな自然環境の保全と快適な生活環境の創造に努めていくことはもちろん、行政と市民や地域、事業者などが協働して温暖化対策や廃棄物対策に取り組んでいます。また、既存の街路灯については、環境に配慮したLED照明への切替の実施に対し、積極的な補助を行っています。

また、幸手市は市域内を流れる河川や低地などの地理的条件から、歴史的にも台風や大雨などによる被害を受けやすい地域であり、日ごろから自然災害に対する対策を講じておく必要があります。

平成27年度には、東日本大震災の教訓も踏まえ「幸手市洪水・地震ハザードマップ」の改定を行い、有事に市民が取るべき行動の再確認を図りました。また、災害時における行政機能維持のため、「幸手市業務継続計画」の策定や防災行政無線のデジタル化、自主防災組織の育成・支援など、災害に強いまちづくりの実現に向け、積極的に防災対策に取り組んでいます。

また、警察や東部消防組合などの関係機関との連携を密にし、防犯、交通安全、消防・救急の充実による安心・安全な暮らしの実現をめざしています。



### 【交通安全パレード】

毎年、「秋の全国交通安全運動」に合わせ、交通事故ゼロをめざし、交通安全意識の向上を図るため、交通安全パレードを開催しています。

### A Safe and Secure Comfortable City Co-existing with Nature 【Safe and Secure・Environment】

By utilizing Saitama city's characteristically rich nature and history, we will implement safety and environmental policies to ensure a safe and secure future.

We have been assigned with the mission of developing the city which is ecological and has a low impact on the local environment. Other than working towards the creation of a pleasant living environment and the preservation of our abundant nature, we are also working with the government, the citizens, regions and business operators to put together policies for waste processing and global warming prevention.



# 健やかで生き生きとした 暮らしのあるまち

## 【健康福祉】

時代が移り変わっても、だれもが自分らしく生き生きとした暮らしを営んでいくためには、一人ひとりの生活環境に合わせたサポートが必要です。

少子高齢化が進展する中、子育て世代にやさしい環境を作り、「子育て応援日本一」をめざす幸手市では、家庭や地域と連携し、安心して子育てができる環境づくりを重点課題ととらえ、積極的な子育て支援を図っています。

保健福祉総合センター内の子育て総合窓口には助産師・保育士が常駐し、専門員による妊娠・出産・子育てに関する相談をお受けしています。

また、子育て応援サークルへの助成や中学生までの医療費の無料化、学校給食費の補助を行うなど、経済的な支援も行うことで安心して子どもを生育てられるまちの実現をめざしています。

市民一人ひとりが生きがいを持ち、いつまでも住み慣れた地域で心身ともに健康で安心した生活が送れるよう、特定健診や各種がん検診のほか、専門医による講演会や各種健康教室による健康づくりのサポートを行っています。

また、適切な介護保険サービスの提供、地域包括支援センターの相談・支援体制の充実など、医療・福祉サービスの向上にも力を入れていきます。

### A City with Lively and Healthy Living 【Health and Welfare】

Personalized support is necessary for each and every person to be able to live the kind of healthy lifestyle that they hope for, even as the times continue to change.

Here in the city of Satte we are aiming to become "The Most Child-friendly Town in Japan" by creating an environment suited to raising children in the current age of declining birth rates.

In order to live a lifestyle which keeps your mind and body safe and healthy in an area which will always be your home, and to have each person having a purpose in their lives, we provide health care support through various types of health classes and workshops taught by medical specialists, as well as specific medical examinations and cancer screenings.



【子育て支援センター事業】

市内に3か所ある子育て支援センターでは、子育て中の親子同士がふれあえるさまざまなイベントを開催しています。



【めざせ！毎日10000歩運動教室】

いつまでも心身ともに健康で安心した生活が送れるよう、ウェルス幸手を拠点に各種健康教室を開催しています。

平成27年度から新たに「埼玉県健康長寿モデル」を用いて実施しているこの教室では、健康づくりだけでなく、参加者同士の交流も盛んに行われています。



【子育て総合窓口】

子育て中のパパ・ママが、より気軽に相談ができるよう、「子育て総合窓口」をウェルス幸手内に開設し、専門員による子育て支援・子育て相談をワンストップで行っています。



# 地域の特性を活かした 快適で特色あるまち

## 【都市基盤】

### A Pleasant and Characteristic City which makes use of its Special Regional Qualities 【Foundations for Urban Development】

Establishments which adequately utilize the characteristics of our regional history and nature are necessary in order to achieve an even better living environment.

We aim for planned land usage while considering the creation of an environment of rich greenery, water and the formation of scenery which is in harmony with the rural landscape.

Until now, establishments have been made around the Ken-O Expressway (the Metropolitan Inter-City Expressway) interchange which is expected to make a large contribution to the local economy. In March 2015, the Satte interchange became the new gateway to Satte city.

より良い生活環境の実現に向けて求められるのは、自然や歴史など地域の特性を十分に生かした整備です。

幸手市では、田園と調和した景観形成や水と緑の潤いのある環境づくりに配慮し、計画的な土地利用をめざしています。

これまで、地域経済の発展に大きな貢献が期待される圏央道（首都圏中央連絡自動車道）インターチェンジ周辺の整備を行ってきました。平成27年3月には、幸手市の新たな玄関口として幸手インターチェンジが開通し、インターチェンジ東側の幸手中央地区産業団地も平成28年6月には企業への引き渡しを行いました。

また、もう一つの玄関口である幸手駅周辺においては、幸手駅舎の橋上化・自由通路整備による利便性の向上や駅西口地区の住環境改善を図るため、土地区画整理事業による西口駅前広場、道路、公園などの整備を進めています。

さらには、まちづくりの骨格を成す道路網や橋梁、上・下水道の整備を進めるなど、便利で安全な市民生活の実現をめざしています。



【自由通路及び橋上駅舎の整備（幸手駅）】

平成31年3月の利用開始に向け、鉄道により分断された幸手駅東西地区を結ぶ自由通路及び橋上駅舎の整備を進めています。



【圏央道幸手インターチェンジが開通】

平成27年3月には、幸手市の新たな玄関口として、圏央道幸手インターチェンジが開通しました。



【計画的な橋梁の修繕】

市の東側を流れる中川に架かる老朽化した橋梁の計画的な修繕を行っています。



【道路網の整備】

圏央道幸手インターチェンジの開通に併せ、側道の整備を行いました（写真／上高野通り）。



【デマンド交通】

市民の新たな公共交通手段として、平成28年度から新たにデマンド交通の運行を開始しました。



# 明日を支える人を育む 教育・文化の豊かなまち

## 【教育】

### A City Rich in Culture and Education which Supports the Future of its People 【Education】

We aim for cultural and environmental advancement by nurturing the individuality of each person as well as the children who will inherit and take Satte, a city born from history and traditional culture which continues through generations, into the future.

We have been working to ensure safe and stable educational environments for children and students by earthquake-proofing indoor sports areas and school buildings at elementary and middle schools. Furthermore, we are aiming to produce talent which will be able to adapt to the changes of society. We are also aiming for a reliable course of study of basic and fundamental knowledge, along with enriching cooperation and coordination between schools, families and communities.

Sports and lifelong learning is essential in order to lead a full life. We offer places for cultural exchange through sporting, cultural and artistic activities, while also developing various business ventures to meet the needs of our citizens at such places as Athcul Satte, the five municipal establishments and the public libraries.

時代を超えて受け継がれてきた歴史や伝統文化から生まれた幸手らしさを次世代を担う子どもたちに引き継ぎ、一人ひとりの個性を伸ばすべく、教育・文化の向上を目標としています。

学校教育においては、小・中学校校舎や屋内運動場の耐震化など、児童・生徒の安心・安全な教育環境の確保に取り組んできました。また、学校・家庭・地域との連携・協働を充実させるとともに、基礎的・基本的な学力の着実な習得や社会潮流の変化に適応できる人材の育成をめざしています。

スポーツや生涯学習は、生きがいのある人生を送るために、なくてはならないものです。アスカル幸手や市内に5館ある公民館、図書館本館・香日向分館などを拠点に、市民ニーズに即したさまざまな事業を展開するとともに、スポーツ・文化芸術活動を通じた市民交流の場の提供をしています。

また、市民一人ひとりのライフスタイルに合わせ、いつでも自由に学習やスポーツができる環境づくりにも力を入れています。



【学校給食】

市内小・中学校の給食は、それぞれの学校での自校式により調理され、子どもたちには、できたてのおいしい給食が提供されています。



【文化祭】

毎年11月に開催される文化祭では、ステージ発表や展示発表など、文化芸術活動の成果が発表されます。



【ひばりヶ丘球場】

総合運動公園内の球場では、市内外のチームによる大会や交流戦が行われています。



【お話し会】

市内に2館ある図書館では、本に慣れ親しんでもらえるよう、定期的なお話し会などのイベントを開催しています。





# 活力ある 地域経済をおこすまち

## 【産業】

明日の幸手を支える原動力は、地域経済の力です。だれもが元気に、いきいきと働くことができるまちをめざし、幸手市はさまざまな産業振興に取り組んでいます。

農業においては、生産基盤の整備や農業経営の支援などを通じて地域農業の活性化を図り、また、農産物直売所などによる地産地消の促進や特産品開発の支援、米のブランド化の推進のほか、市民農園・体験農業などを通じた市民交流も行っています。

市の財政安定化のためにも大きな期待が寄せられるのが商工業です。市民の暮らしを支え、まちに活気と賑わいをもたらすことから中心市街地の活性化や経営支援など、地域経済の活性化に結び付くような産業振興を図っていきます。

観光においては、権現堂堤、市営釣場神扇池、行幸湖や日光街道幸手宿など、特色ある観光資源を活用しながら、市内の名所、史跡、商店街や幸手駅などを結ぶ観光ルートに有機的につなげた回遊型観光にも力を入れていきます。

消費生活センターでは、商品やサービスなどの契約トラブルや多重債務などの相談をお受けし、その解決に努めるとともに、市民への啓発活動や情報提供を行うなど、豊かな消費生活が送れるよう支援を行っています。

また、平成29年2月には、新たに市役所内にふるさとハローワークを設置し、専任相談員による就職相談や職業紹介サービスを開始するなど、雇用の拡大も図っています。

### A City with a Dynamic Local Economy 【Industry】

The regional economy will be the driving force for the future. We are aiming for the city in which anyone can work productively, and are putting together a number of industrial promotions.

We are holding public exchanges through agricultural and farming work-experience, as well as promoting rice branding, supporting product development and the promotion of local production for local consumption through direct sales of agricultural products, and are planning to stimulate regional agriculture through support for farm management and maintaining production points within the agricultural industry itself. Commerce and industry bring the biggest expectations for the economic stability of Satte city. We are planning industrial promotions to stimulate the regional economy, such as support for managements, stimulation of the city center to bring liveliness and prosperity.



【幸手中央地区産業団地】

圏央道幸手インターチェンジ東側の幸手中央地区産業団地では、企業への分譲地の引き渡しが行われ、開業に向けた工事が着々と進められています。



【市営釣場神扇池】

へら鮎釣り専用で水面積38,551㎡の釣場には、7つの桟橋に456席の釣座があり、朝早くから大勢の人が釣り糸を垂らします。



【観光ガイドの養成】

権現堂堤と幸手宿を形成していたまちなかを結ぶ回遊型観光の推進に向け、観光ガイドの養成にも力を入れています。



# 市民一体となり 自立した地域を育むまち

## 【市民活動・人権】

自分たちが暮らすまちだからこそ、自分たちが参加し、一体となってまちづくりを行っているという考え方が広く浸透しています。

こうした機運を踏まえ、幸手市では市民と行政が対等な関係を保ち、それぞれの役割を分担しながら、協力・連携していくため、平成27年度には「幸手市協働のまちづくり指針」を策定し、さらなる協働の取組みを推進しています。

こうした協働のまちづくりの実現に向け、平成28年度から市内に5館ある公民館に地区市民センターを併設し、それぞれの地域の課題解決や、地域の特性を生かしたまちづくりを行っています。また、協働の担い手である区や自治会などによる地域コミュニティ組織の充実・発展に向け、積極的に取り組むとともに、市民と行政との情報の共有化を進めています。

また、平和と人権が尊重され、ともに生きる社会の実現に向けて、だれもが行動しなればなりません。

性別や住んでいる地域などにとらわれず、平等で幸せに暮らせるまちの実現はもちろん、多文化共生の考え方に基づいた国際理解や国際交流にも努めています。

### A City where Citizens Work Together to Nurture a Self-sustaining Region

#### 【Civic Activities - Human Rights】

The concept that because this is the city in which we all live, we all should work together is an idea which is spread far and wide.

With this in mind, we promote working towards even more cooperation with the "Satte City Cooperative City Planning Policy" being enacted in 2015 in order to connect and share the responsibilities of various positions, and preserve the relationships of equality between the administration and citizens of Satte city.



【クリーン作戦】

毎年、多くの市民や団体が参加し、多くのごみを収集しています。清掃活動に携することで、自分たちの住むまちへの愛着も増していきます。



【幸手市国際交流協会】

幅広い分野で国際交流活動が盛んになるよう、さまざまな活動を行っています。夏祭りでは、浴衣に着替え山車曳き体験を行います。



【埼葛人権を考えるつどい】

各団体による音楽発表や福祉施設利用者の作品展示などを通じ、人権の尊さを改めて考える「人権を考えるつどい」は、埼葛12市町合同で開催しています。



# 基本構想の実現のために

## 【行財政・議会】

少子高齢化の進展やグローバル化による経済構造の変化、大規模災害の発生など、地域を取り巻く環境は変化し、また、人口減少や先行きが不透明な経済情勢などにより、市税収入などの自主財源の大幅な伸びが期待できない中で、多様化・複雑化する市民ニーズを背景とした行政需要が増大しています。

これらの行政需要に的確に対応するためにも、これまで行ってきた事務事業の見直しや効率的な行政組織の構築、市税などの自主財源の確保などを徹底し、財政健全化を堅持しながら、限られた財源や人材を効率的に配分し、効果的な行財政運営を推進していくことの重要性が一層増してきています。

これらの実現のためには、市民と行政が対等な立場で協働してまちづくりを進めることが必要不可欠です。行政情報の透明化による信頼確保と課題共有のためにも、積極的な情報の公開や広報活動の充実を図るとともに、タウンミーティングなどの実施により、市民の意見を市政に反映できる仕組みづくりに努めています。

幸手市議会は、市民を代表する15人の議員で構成され、年4回の定例会や必要に応じて臨時会を開催しています。

本議会では、予算、条例の制定・改廃などを審議、決定しています。また、議案や請願などを専門的に調査・研究・審査するため、総務・文教厚生・建設経済の3つの常任委員会を設置しています。

平成27年に制定した議会基本条例に基づく議会報告会の開催やインターネットによる議会のライブ中継・録画配信など、市民に開かれた議会運営に努めています。

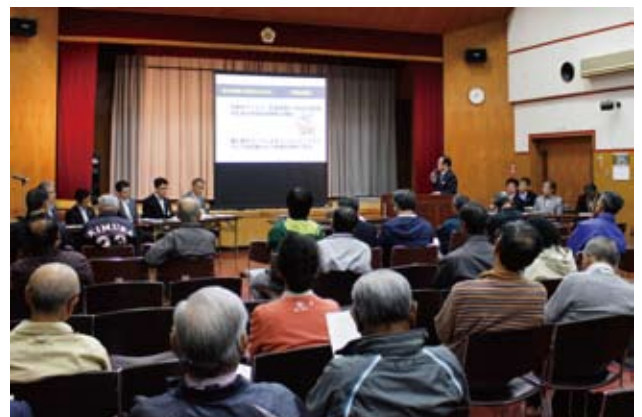


【幸手市議会】

市民を代表する15人の議員で構成された幸手市議会は「市民に開かれ市民とともに歩む議会、市民のための市政」をめざします。

### For the Realization of a Fundamental Plan 【Administration and Public Finance - City Council】

We are promoting effective and efficient public financial administration by focused distribution of human resources and limited funds, while sticking to public financial restoration, secure enforcement of independent funding such as city tax, the construction of efficient administrative organizations and reviews of business enterprises, in order to adequately meet to the administrative demands in the context of the diversification and complication of the needs of our citizens, within changes to the local environment such as large scale earthquakes and changes to the structure of society due to globalization, the falling birth rate and the ageing population. Furthermore, the Sate City Council, consisting of 15 city council members acting as representatives of the citizens, has four regular meetings per year, as well as extra meetings if the need should arise, where they deliberate and decide on the budget and ordinances.



【タウンミーティング】

市民と市長とが直接お会いし、市へのご意見・ご要望をお聞きするタウンミーティングを開催しています。

# そして未来へ

権現堂堤に咲く桜のように輝きに満ちた未来を次代の子どもたちに残せるように。まずはこの要覧を参考に幸手市の今とその魅力を知り、まちを楽しむことから始めてみませんか。

## 市民憲章

わたしたちは、自然と産業の調和した豊かで住みよい魅力ある郷土「さって」を旨として、ここに市民憲章を定めます。

- 1、自然の風土を愛し、自分たちの手で美しい郷土をまもりまします。
- 1、おたがいの人権をみとめあい、平和な明るい郷土をつくりまします。
- 1、子どもから老人まで、生涯にわたってスポーツを楽しむ、健康な郷土を育てまします。
- 1、まちの歴史を見なおしながら、文化財を大切にし、文化のかおり高い郷土を培いまします。
- 1、はたらくよろこびに生き、しあわせな家庭をもとに、みんなの力を合わせて、伸びゆく郷土とともに進みます。

昭和61年10月1日

## 文化都市宣言

さくら 夏祭り 黄金の波 きれいな空 古い伝統  
豊かな自然が 育んだ 故郷という宝物  
みんなで尊び 手に手をとって 未来へ引き継ごう  
桜堤 利根川 緑の田園 美しい街並 義人の心  
先人の努力と叡智で 築かれた 郷土の文化  
みんなで護り 手に手をとって 埼玉へ広げよう  
思いやり 健康 潤い 進歩  
今のわたしたちが 培い創る 新しい文化  
みんなで学び 手に手をとって  
次の世代へ伝えよう 活力ある 文化の薫りたかい  
わたしたちの 幸手  
無限の発展を願い 永久の平和を誓い  
市制施行にあたり幸手市を「文化都市」とすることを宣言する

昭和61年10月1日

## 平和都市宣言

私たちの郷土「さって」は、美しい自然に恵まれ、市民の日々安らかなくらしがその上にある。

更に市民一人ひとりが尊重され希望と誇りをもって豊かな社会を築き、次代に引き継ぐことを念願として新しいまちづくりに努力している。

しかし、いま、このかけがえのない郷土や地球上の生きとし生けるもののいのちとこれまで人々が築き上げてきた貴重な文化が、戦争によってそのすべてを失いかねない脅威にさらされている。

私たちは、戦いによって傷つけあうことの愚かさを憂えるとともに、「非核三原則」の国是を堅持して世界の恒久平和が確立されることを願い、ここに平和都市を宣言する。

平成2年4月1日

## 健康ふれあいスポーツ都市宣言

私たちは、生涯にわたってスポーツに親しみ、健康な心と体をつくり、ふれあいとやすらぎのあるまち・幸手市をめざし、ここに「健康ふれあいスポーツ都市」を宣言します。

- 1、スポーツに親しみ、健康な心と体をつくりまします。
- 1、スポーツを楽しみ、明るい生活をおくりまします。
- 1、スポーツを愛し、友情とふれあいの輪をひろげまします。
- 1、スポーツを通して、ゆとりと活力のある幸手市をつくりまします。

平成3年10月1日

## 全国さくらサミット災害時相互応援協定締結自治体

北海道新ひだか町  
新潟県五泉市

秋田県仙北市  
岐阜県本巣市

宮城県柴田町  
奈良県吉野町

福島県富岡町  
島根県雲南市

茨城県日立市  
長崎県大村市

群馬県前橋市  
宮崎県日南市

平成26年4月17日

# 市制施行30周年



## 【幸手市市制施行30周年記念式典】

平成28年10月1日で幸手市は市制施行30周年を迎えました。  
「手をつなぎ、幸せあふれる幸手市に！」をキャッチフレーズとして、さまざまな記念事業を行いました。  
アスカル幸手のさくらホールで行われた市制施行30周年記念式典は、多くの市民の皆様にご参加をいただき、  
幸手市の未来への更なる飛躍と発展を願う催しとなりました。

## 【幸手市のプロフィール】



埼玉県

### ●位置および面積

東経／139度43分

北緯／36度4分

面積／33.95km<sup>2</sup>

広ぼう／東西8.8km 南北7.6km

### ●地勢

埼玉県の北東部に位置する幸手市の地勢は、古東京湾の一部が陸地化したもので、東端には下総台地の一部があるものの、ほかは沖積地で、利根川と渡良瀬川の氾濫によって形成された沖積層の粘性土がほとんどです。



市の花 ● さくら



市章



市の木 ● 榎



幸手市マスコットキャラクター  
さっちゃん

## 幸手市勢要覧2017

SATTE CITY GUIDE

発行日 平成29年3月  
発行 埼玉県幸手市  
編集 幸手市秘書室  
〒340-0192  
埼玉県幸手市東4-6-8  
TEL 0480-43-1111  
FAX 0480-43-7088  
URL <http://www.city.satte.lg.jp/>

制作 中央プリント株式会社